

学年	高校 3 年	教科	理 科	科目	化学演習	単位数	6
教科書名		化学 academia（実教出版）		副教材名	新編アクセス総合化学（浜島書店）		
コース・クラス		N 進理系					

I 目標

- 1 基礎学力到達度テストにおいて、得点率 70%を獲得できる実力を身につけさせる。
- 2 演習問題を中心とした授業により、理系大学の受験に対応できる計算力や応用力を身につけさせる。

II 授業のねらい

- 1 基礎学力到達度テストを意識した問題演習を多く取り入れ、実力を養う。
- 2 炭水化物、タンパク質、脂質を分子レベルで学び、理解を深める。
- 3 身の回りにあふれている高分子化合物（プラスチック、ゴム）などの理解を深める。
- 4 繊維、色素、洗剤を分子レベルで理解を深める。
- 5 化学基礎、化学の内容を、問題演習を通して総復習し、大学入試に対応できる力を身につける。また、理系私大入試において必要な応用力、思考力を身につけさせる。

III 授業の進め方

板書、問題演習を中心とする。また、実験を取り入れ、知識の定着をはかる。

IV 学習上の留意点

- 1 基礎学力到達度テストを意識し、問題集を中心とした演習を行うことが必要である。
- 2 常に身の回りの物質、現象を意識しながら学習を進める。これにより、幅広い知識の習得を心がける。

V. 定期試験

- | | |
|-----------|----------------------|
| 1 学期 中間試験 | 基礎学力到達度テストの範囲 (化学基礎) |
| 1 学期 期末試験 | 基礎学力到達度テストの範囲 (全範囲) |
| 2 学期 期末試験 | 有機化合物、高分子化合物 |

VI 評価の方法

定期試験、小テスト、提出物、授業への取り組み方などで総合的に評価する。

VII 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	1、2年次の復習	小テスト 実験	・化学基礎、化学(無機化合物まで)の総復習を通して、基礎学力到達度テスト対策に対応できる実力が身についている。 ・基礎学力到達度テストで、得点率 50%を獲得できる実力が身についている。 ・有機化合物の質量分析ができる。 ・特定の官能基をもつ化合物の性質を正しく理解できる。 ・異性体を区別できる。
	5	有機化合物の特徴と構造 炭化水素	中間試験	
	6	酸素を含む有機化合物 問題演習	期末試験	
	7	基礎学力到達度テスト対策		
二学期	9	基礎学力到達度テスト対策	小テスト 実験 提出物 期末試験	・基礎学力到達度テストの予想問題、過去問を中心に演習を行い、得点率 70%を獲得できる実力が身についている。 ・芳香族化合物の性質、合成法、用途を理解する。 ・高分子化合物が身の回りに密接に関わっていることを理解する。 ・全単元において、大学入試の過去問を解ける実力が身についている。
	10	芳香族化合物 有機化合物と人間生活 高分子化合物 天然高分子化合物 合成高分子化合物		
	11	高分子化合物と人間生活 問題演習		
	12			

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。